

## 平成26年度 第2回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会

### 1. 日 時

平成26年7月18日（金） 午後2時から午後3時50分

### 2. 場 所

下関市立市民病院 2階 講堂

### 3. 次 第

- (1) 開会
- (2) 議題
- (3) その他
- (4) 閉会

### 4. 配布資料

- ・資料1 平成26事業年度における業務実績報告書（抜粋）について

### 5. 議事録（概要） ※次頁以降

## 平成26年度第2回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会の議事概要

### 1. 開催日時

平成26年7月18日（金）14時00分～15時50分

### 2. 開催場所

下関市立市民病院2階講堂

### 3. 出席者

- ・ 下関市立市民病院評価委員会  
弘山委員長、林委員、飯野委員、佐々木委員
- ・ 下関市立市民病院  
小柳理事長、上野副理事長、前田理事、坂井理事、大津理事、兼安理事、  
吉田事務部長ほか
- ・ 下関市  
綿谷病院事業部長、秋枝病院管理課長 ほか3名

### 4. 内容

#### (1) 中期計画の取扱いについて

- ・ 前回（H26.7.8）の評価委員会で法人から説明のあったDPCの対象病院に移行出来なかった件で、現在の中期計画と平成26年度の年度計画に矛盾が生じることから、評価委員会として中期計画の取扱いをどうすべきか協議を行った。

質疑応答・意見等（○委員発言 ●法人発言 ■事務局発言）

- 中期計画を変更しないと年度計画がおかしくなることから、当評価委員会としては中期計画を変更する必要があるといたしたいが、法人として意見等があるか？
- 法人としては何ら方向性が変わった訳ではなく、手段がずれたにすぎないと思うが、評価委員会としての意見を伺ったので、あらためて当方（法人）の理事会で再検討をさせていただきたい。

○ 理事会で再検討されるということだが、次回の評価委員会（H26.8.7）までに開催可能か？ 本件について事務局としてどう考えるか？

■ 中期計画の変更については、もし変更するとした場合、9月の議会に上程する必要があり、その場合、次回の評価委員会で議案として諮らないと間に合わないため、それまでに法人の方で理事会を開催してもらい、中期計画の変更を出してもらう必要がある。

○ 定時の理事会に間に合わない場合は、臨時の理事会を開催してもらい、次回の評価委員会で法人の考えを聴くということにしたい。

(2) 財務諸表の承認の際の意見書の確認について

・事務局より、法人から提出された財務諸表の承認の際の意見書（案）について説明

【本意見書（案）について、評価委員会として特段の意見はないということ、全委員承認】

○ 本意見書の内容で評価委員会から市長に回答いたしたい。

(3) 平成25事業年度業務実績報告に関する評価（小項目）について

・法人から平成25事業年度業務実績報告書の小項目について説明

○ 業務実績報告書の小項目ごとに項目名を読み上げるので、委員の皆さんからの意見や評価について発言していただきたい。先ず項目番号1「インフォームド・コンセントの徹底を図る。」について、法人の自己評価は「2」となっているが如何か。

【項目番号1】

○ 同席が必要という訳ではなくて、サインも含めてきちんと出来ていないということだと思う。東京女子医大の件も含めて極めて大きな問題であり、きちんとやっておかないと後で大変な問題になるので、主治医なりサインしておかないといけない。急性期病院はそれについては相当神経質になっている。

是非サインは徹底していただきたい。

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「2」とし、コメントとしては、「同席者のサインを徹底するように努めてもらいたい。」としたい。

**【項目番号2】**

- 栄養指導件数が倍以上になっているので、相当な努力だと思う。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「相当努力している。」としたい。

**【項目番号3】**

- 実績が前年度より下がっている。それと気になっているのが、整形のクリニカルパスが多いのか判らないが、内容的に気になる。クリニカルパスはとても大切なので、是非、前年度比も含めて増やしていただきたい。
- 計画値よりは966件多いが、前年度実績よりは少ないので、評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「3」としたい。

**【項目番号4】**

- 市民病院に入院した時に点眼があったが、薬局の指導とこちら側（現場）の指導が違っていた。3種類の目薬を5分間隔で注してくださいという指導と、直ぐ注して良いという指導があった。指導がずれていた。
- 服薬指導もかなり増えており頑張っていると思う。
- 薬剤師のマンパワーが増えていないのに件数が増えているのでかなり努力していると思う。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「薬剤師と現場の指導内容を徹底してほしい。」としたい。

【項目番号5】

- 件数があまり増えていないので、法人の自己評価が「3」なのだと思うが、体制としては出来ているが実績が増えていない。これからが大事だと思う。実績を作るには自分のところだけでは出来ない。連携先とか強化していかなくてはならない。
  
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「3」とし、コメントとしては、「体制は強化しているので、実績を増やしていただきたい。」としたい。

【項目番号6】

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「3」とし、コメントとしては、「予約患者を優先するなど、眼科では工夫していることがわかる。他の診療科でも努力してほしい。」としたい。

【項目番号7】

- 今後も引き続き環境整備に努めていただきたい。
  
- クレジットカードの場合、手数料が取られるので、ある意味もったいない。未収金の問題もあるので仕方がないが、積極的には推奨するべきではないと思う。
  
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「3」とし、コメントとしては、「未収金が発生した場合、回収費用等がかかるので、未収金の発生防止のためにクレジットカードを役立てていただきたい。」としたい。

【項目番号8】

- 市民病院に入院していた時にボランティアの方が精力的に活動していたのに感心した。
  
- ボランティアの数も増えている。非常に良い方向に向いている。

- ボランティアの教育、例えば接遇とか取り組んでいるのか？
- ボランティア会議で問題点等を出し合い、例えば、車椅子の使い方などの研修会を実施している。意識的にボランティアは共通の認識を持って患者に対応している。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「引き続き良い印象を持っていただくように、ボランティアの方に頑張ってもらいたい。」としたい。

【項目番号9】

- セカンドオピニオンの全体件数が少ない。がん拠点病院ではセカンドオピニオンの件数はかなり増えている。増やすべきである。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「3」とし、コメントとしては、「今後、件数を積極的に増やしていただきたい。」としたい。

【項目番号10】

- 多くの病院の売店がコンビニになっているが、普通のコンビニもあれば病院の特性を持っているコンビニもある。病院に合ったコンビニをということだと思う。
- 普通のコンビニとは違う病院の特性に合ったコンビニが必要だと思う。契約の問題もあると思うが、そういうコンビニが出来るのではないか？
- 病院により色々な特色があると思う。おむつを扱っていたり、介護色のものなどがあるが、実際にはスタッフが利用している場合が多く、福利厚生的一面からはかなりプラスになっている。
- コンビニと法人とで、こういう商品を扱ってほしいとか話し合いをする会議はあるのか？

- 要望については、こちらから出すようにしている。例えばコンビニでおむつを扱えば良いが、法人で直接対応しているものもある。
- CS調査（患者アンケート）でコンビニの項目を入れて、こんなものを取り扱ってほしいという要望を聞いていただくなど検討していただきたい。
- 北九州市にある市立病院の売店に比べたらとても良いと思う。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「患者のニーズ等を調査して、今後もより良いものにしていただきたい。」としたい。

**【項目番号11】**

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「1」とし、コメントとしては、「DPCが取れていないので、中期計画全体との整合性が取れない。」としたい。
- 次回の評価委員会で、法人として平成26年度はどうするのか聞きたい。

**【項目番号12】**

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「3」とし、コメントとしては、「研修医が定着していることは評価出来る。」としたい。

**【項目番号13】**

- 看護師の確保は努力していると思う。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「看護師の確保に努力している。」としたい。

**【項目番号14】**

- 認定看護師の育成についてはDPCを取得することが前提であったので、DPCの重点配分が診療科で出て来ると思う。それに関連して認定の22分野

について、メインにする診療科をかなりフォロー、支援出来るように認定看護師を入れて行くということが計画的かつ戦略的にということかなと思う。診療科を手厚くする分野、例えば、がんについて認定看護師を増やしていくことかなと思うので「2」としたい。

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価である「3」ではなく、「2」とし、コメントとしては、「診療科の重点配分に合わせた認定看護師の育成が必要である。」としたい。

#### 【項目番号15】

- 院外の研修に結構参加していると思う。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「院外の研修によく参加しており、特に管理者の再教育は喫緊の課題である。」としたい。

#### 【項目番号16】

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「治験の件数が増えているので、引き続き貢献出来るように努力していただきたい。」としたい。

#### 【項目番号17】

- 必要な医療機器を整備したことなので評価のしようがない。
- 実際の稼働実績があれば良いのだが。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「医療機器を整備してアウトカムを出すことが出来れば出していただきたい。」としたい。



【項目番号18】

- 受入不能症例件数が7件あったのはどうかと思った。
- 市民病院に常勤の救急医が入って来て、よく頑張っていると思う。他の3総合病院とも協力して、処置が困難な場合は他の病院にお願いする取り組みを行っている。平成24年度の13件に比べると減っているので努力していると思う。
- 受入不能症例としては専門の医師がいない場合なのか？
- 当番日ではない日は当直している医師が少ないので、診れない患者については無理して診るよりも当番病院にお願いした方が良いと思い、その数も断診の中に入っている。
- 市民病院にとって救急は大きな使命であるので強化していただきたい。
- 実績数自体は増えている。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「実績数も増えており、断診の数も半減している。」としたい。

【項目番号19】

- 小児科医を確保していることは努力されていると思うが、産科に入院した時、暇そうに見えた。もう少し努力して患者を増やすことは出来ないか。
- 救急外来で小児科の8割近くは感染症だと思うので、常勤の医師がいて、2次救急でも受け入れる体制を維持していることで安心感があると思う。市の病院としては役割を果たしている。感染症なので退院が早いので、たまたまピークが過ぎると病床がガラガラに見える場合がある。また、感染症なので流行っている時は患者が多いのでその部分は加味した方が良いと思う。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「今後も小児科の医師確保に努めていただきたい。」としたい。

【項目番号 20】

- 計画より大幅に上回っているので、「5」が良いと思う。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と「4」に対して「5」とし、コメントとしては、「計画より大幅に上回っている。」としたい。

【項目番号 21】

- 手術件数が増えている。アウトカムが出ている。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「順調に効果が出ている。」としたい。

【項目番号 22】

- がん拠点病院として何を強化するのか。件数は増えてはいるが、他のがん拠点病院は相当な投資をしている。人的な投資等をしているところが残っている。本当にがん拠点病院としてやるのであれば、立て直しをしなければならぬ。生半可な気持ちでは難しいと思う。刷新しないといけない。循環器とか整形は増えているので収入に貢献していると思う。本当にやるのであれば本気に取り組まないと難しい。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「がん拠点病院として相応しい体制を構築すること。」としたい。

【項目番号 23】

- 市民公開講座はきちんと行われている。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「3」とし、コメントとしては、「引き続き努力してほしい。」としたい。

【項目番号 24】

- がん拠点病院をやるのであれば重点化しないといけないし、相当な投資を行

わないといけない。がん拠点病院が二極化している。どのくらいの施設整備をやるのか。やるのであればもっと重点化しなくてはいけない。

- がん拠点病院であれば設備が市民病院にあってほしいと思う。
- 設備はとても高額であるが最新の設備はとても良い。技師もかなりの技術力があるので、がん拠点病院として下関でやるのであれば、人的と設備の両方を集中投資しないといけない。
- 法人として、中長期的にどのくらいがん拠点病院として取り組んでいくのか。
- 市民病院の稼ぎ頭は整形であり、これから5年から10年は整形が中心となっていくが、がん拠点病院の指定を失うと病院にとっても非常に大きな損失である。
- どちらにしても、がん患者は増えるので、終末も含めて重点化を行っている。これを避けて通ると厳しいので、これを強化することは重要である。
- 市民病院としては、そのために地域医療センターを整備して12床の化学療法室や緩和ケア病棟などの拠点病院としての仕組み作りを行っている。肝臓内科の医師がいないことで厚生病院に紹介して、逆に厚生病院から放射線治療で逆紹介されている。手術の件数もコード別には10件未満の数字が多かったので、実際は倍以上の数字はある。平成25年度では355件あった。
- 肝臓がんについては血管造影を使って塞栓術を行ったりして手術1件に相当するが、それが無いので100件近くはマイナスになっている。
- 引き続き、法人として努力していただきたい。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「3」とし、コメントとしては、「法人として、これからどのくらい力を入れていくのか検討してほしい。」としたい。

【項目番号 25】

- 5事業のうち、へき地もやっているし、常勤も確保して救急もちゃんとやっている。役割は担っている。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「引き続き中核病院としての意識を持って頑張っていたきたい。」としたい。

【項目番号 26】

- 地域医療支援病院の認定基準が上がったので、今後取れるかが問題である。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」としたい。コメントとしては、「実績としては増えているので、引き続き紹介率と逆紹介率を増加させるようにしていただきたい。」としたい。

【項目番号 27】

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」としたい。

【項目番号 28】

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」としたい。

【項目番号 29】

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」としたい。

【項目番号 30】

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」としたい。

【項目番号 31】

- 昨年度はこの項目について法人の自己評価は「4」であったが、本年度は「3」で評価しているので法人としても考えていると思う。

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「3」とし、コメントとしては、「DPCへの申請を逃したので正しく機能していない。」としたい。

【項目番号32】

- 意思決定は行えていたけれども、DPCの申請のタイミングを逃したと思う。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「3」とし、コメントとしては、「申請等は遅滞なく行ってもらいたい。」としたい。

【項目番号33】

- アウトカムは出ているのか。
- 平成25年度は準備期間であり、平成26年度の契約金額は下がった。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」としたい。

【項目番号34】

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「2」とし、コメントとしては、「引き続き努力していただきたい。」としたい。

【項目番号35】

- 材料費全体が増えているが、主に整形か？
- そのとおりである。手術件数が増えている。
- ジェネリックの比率はいくらくらいか？
- 5%である。DPCに移行すればメリットがあるので比率はもっと高くなる。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」としたい。

【項目番号 36】

- 平均在院日数が減っても入院単価が増えているが病床利用率は少し低い。
- 病床利用率が低いのは、小児科の病床を26床で届出しているが6床室もあり、稼働しているのは実質的には12床くらいである。
- 前年度よりも病床利用率は減っている。
- 年度計画に病床利用率の向上を図るとなっている。次の項目番号37では入院・外来単価の向上を図るとなっている。平均在院日数を減らしたために病床利用率は下がり、単価が上がったことは認めるが、単価を考えると病床利用率の80%は厳しい。超急性期病院だと病床利用率は82～83%くらいで入院単価は7万円を超えている。
- 今年6月から7対1になり、入院単価が5万9千円になった。
- 7対1になると患者を早く出さないといけない。整形の場合、良い面と悪い面がある。今回の診療改定から外来の手術が外された。整形で平均在院日数を10数日にするのは厳しい。病床利用率を何とか確保してほしい。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価「3」に対して「2」とし、コメントとしては、「病床利用率を上げなければならない課題がある。」としたい。

【項目番号 37】

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」としたい。

【項目番号 38】

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「3」とし、コメントとしては、「順調に採用が進んでいる。」としたい。

【項目番号 39】

- 前年度に比べて率が下がっている。
- 査定減も返戻数も増えているが、他の病院も同様に厳しい査定を受けている。再請求しないとダメである。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「3」とし、コメントとしては、「請求漏れ等の防止に努めていただきたい。」としたい。

【項目番号 40】

- 夜間救急は診療費が取れない場合が多い。
- 実績も増えているので、評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」としたい。

【項目番号 41】

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「3」とし、コメントとしては、「未収金の回収率は良くなっているので、地道に回収していただきたい。」としたい。

【項目番号 42】

- ドクターの評価は良いのか？
- 夏のボーナスで10～20万円減っているドクターがいるが、来年3月の3回目のボーナスで良かったかどうか実感すると思う。
- アウトカムだけで評価出来ない面があり、指標が難しい。
- 先日、各診療科の科長とどのような項目を評価してほしいかヒアリングを行った。

- 業績評価を始めたのなら、面接が非常に大切だと思う。そしてフォローをしっかりやっていただきたい。運用についても気を付けていただきたい。
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「業績評価については面接が非常に大切だと思うので、フォローをしっかりやっていただきたい。」としたい。

**【項目番号43】**

- 取り掛っていないので、評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「2」としたい。

**【項目番号44】**

- 取り掛っていないので、評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「2」とし、コメントとしては、「運用に注意していただきたい。」としたい。

**【項目番号45】**

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「3」としたい。

**【項目番号46】**

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「引き続き体制強化を図っていただきたい。」としたい。

**【項目番号47】**

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」としたい。

**【項目番号48】**

- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「4」とし、コメントとしては、「年々受講者が多くなっている。」としたい。



【項目番号49】

- 経常収支比率100%を目指すのは当然であるが、7対1とか人を確保する面では頑張っていて収入もアップしている。これをもっと充実させて経常収支比率の100%を達成していただきたい。
  
- 評価委員会の評価としては、法人の自己評価と同じ「2」とし、コメントとしては、「経常収支比率100%を超えるために、引き続き努力していただきたい。」としたい。
  
- 以上で全項目の評価を終えるが、辛口の評価もあったと思うが、法人のために愛情を持った評価ということで受け止めていただきたい。

(4) その他

- ・事務局より、次回の評価委員会（8月7日）の開催について説明